第 11 講　【系統地理編】人口，人口問題
PART 2 人口ピラミッド

Chapter 1　社会の発展と人口転換

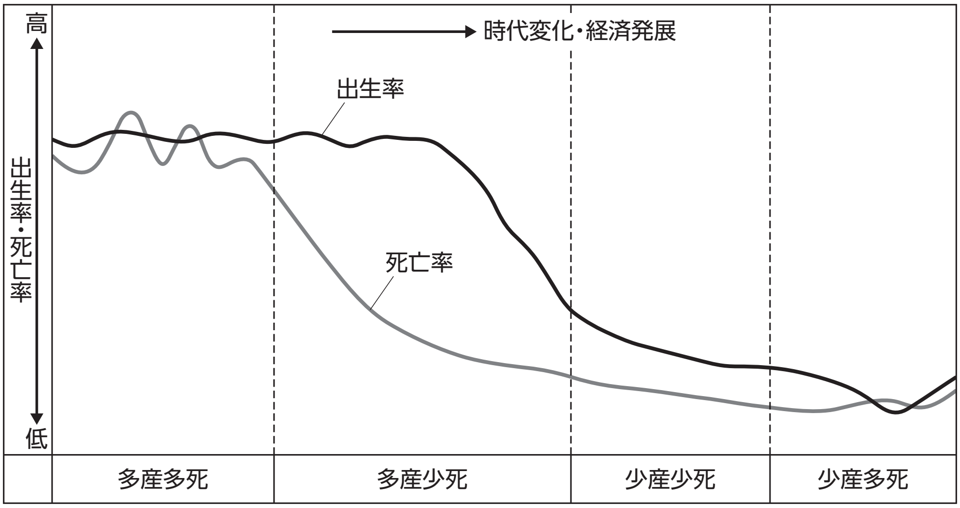
目標
社会の発展によって，死亡率が低下する理由を理解しよう。
人口転換が進むと，人口の自然増加率はどう変化するか理解しよう。

1　人口増加の考え方

・**人口増加**は，**自然増加**と**社会増加**の和で示される。
・**社会増加**とは**流入数**と**流出数**の差であり，**自然増加**は〔　　　　　〕数と〔　　　　　〕数の差である。
　→国別の人口動態は〔　　　　　　　　〕を主として考え，**経済レベル**などの要素によって，**出生率・死亡率**に国・地域ごとの特徴が表れる。

2　経済発展と人口転換

・時代変化や経済発展に伴い，**人口動態**（人口が増減する様子）が**多産多死**から**多産少死**，**少産少死**へと変化することを〔　　　　　　　　〕という。



人口転換

1. 多産多死

・古い時代や，現代でも特に開発の後れた**発展途上国**では，子どもが重要な〔　　　　　　〕として扱われていたり，教育の未普及や宗教的な理由で避妊が行われなかったりして，**出生率が高い**。

・**衛生環境**や**医療**の発達が後れており，栄養状態も悪いため，特に〔　　　　　　〕**死亡率**が高く，〔　　　　　　〕も短い。

→出生率も死亡率もともに**高い**状態で，人口は全体として，少しずつ〔　　　　　　〕。

2. 多産少死

・時代の経過や経済発展に伴い，出生率が高いまま**衛生環境**や**食料事情**の改善，**医療技術**の発達などにより，**死亡率**が下がると，人口が急増する（〔　　　　　　〕）。

・現在の多くの発展途上国はこの段階で，〔　　　　　　〕が高い。

3. 少産少死

・経済発展により社会が成熟し**医療**が発達すると**死亡率の低下**，平均寿命の伸長が起こり，高齢者の割合が上がる。

・相対的に若年層が少なくなり，また，**ライフスタイル**の幅が広がることで，**出生率が低下**し，人口増加率が〔　　　　　　〕。

・現在，経済成長を果たした**先進国**の多くがこの段階にある。

4. 少産多死

・少産少死の状態から，さらに**高齢化・少子化**が進行すると，死亡率が出生率を上回り，〔　　　　　　〕が始まる。**日本**など，先進国の一部はこの段階。

＜出生率・死亡率の特徴（2019 年）＞

	出生率(‰)	死亡率(‰)	自然増加率(‰)	平均寿命(歳)	1 人当たりGNI（ドル）
レソト	26.4	13.9	12.5	54.3	1,290
エジプト	25.7	5.8	19.9	72.0	2,690
イギリス	10.7	9.0	1.7	81.2	42,130
日本	7.0	11.1	−4.1	84.4	41,580

（『データブック オブ・ザ・ワールド 2022』により作成）

まとめ
衛生環境や栄養状態の改善，医療の発展などにより，乳幼児死亡率が下がる。
多産多死は微増→多産少死で急上昇→少産少死で低下する。

Chapter 2　人口ピラミッド

目標　現在の日本の人口ピラミッドは何型だろう。
社会増加の傾向を反映した，人口ピラミッドの型を知ろう。

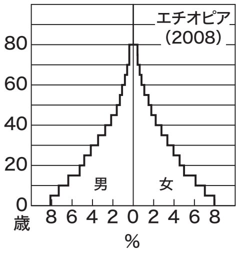
1　人口ピラミッドとは

・**人口ピラミッド**：国や地域の〔　　　　〕・〔　　　　　　〕の人口構成を示すグラフ。
・各年代は，大きく以下の3つに分けられる。
　→**年少人口**：14歳以下の人口。
　→〔　　　　　　　　〕**人口**：15歳以上64歳以下の人口。
　→**老年人口**：65歳以上の人口。

2　自然増加を反映する4つの人口ピラミッド

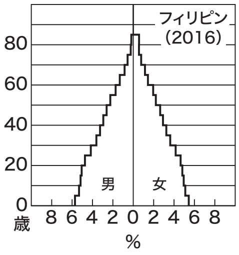
1. 富士山型

・**出生率**と**死亡率**がともに高い〔　　　　　　　〕の社会を示す。
・発展の特に後れた**サハラ以南アフリカ**の国など。
・底辺（0～5歳）が特に長く，〔　　　　　　　　　　〕が高い。**衛生環境・栄養状態**が悪いため，**乳幼児死亡率**が高く，0～5歳と5～10歳の割合に大きな差がある。
・全世代の**死亡率**も高く平均寿命が短いため，国の中央年齢（全人口の年齢の中央値）が**若い**国となる。



2. ピラミッド型

・東南アジア，南アジア，ラテンアメリカなど，多くの〔　　　　　　　　　〕が該当する。**衛生環境・栄養状態**の改善，**医療**の発達などにより，富士山型から**死亡率**がやや低下した状態。
　→**多産少死**の社会となり，〔　　　　　　　〕になりやすい。

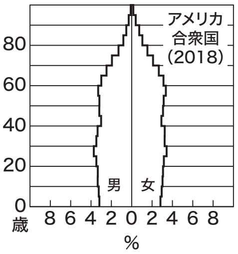


3. 釣鐘型

・多くの〔　　　　　　〕が該当する。社会の成熟による**女性の社会進出**や**晩婚化・非婚化**により，〔　　　　　　〕が低下した状態。

・一方で医療などの高度化により平均寿命は伸び，**老年人口比率**の上昇が見られる。

→全世代人口のつり合いが取れる**少産少死**の状態。



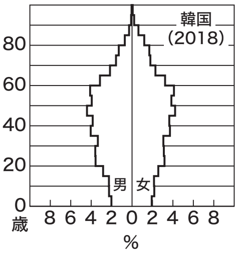
4. つぼ型

・**日本**や西ヨーロッパなど，一部の**先進国**が該当する。

・老年人口比率が極めて高くなることで死亡率が上昇。

・相対的に若年層が減ることで次世代の人口がさらに減り，〔　　　　　　〕が進行。

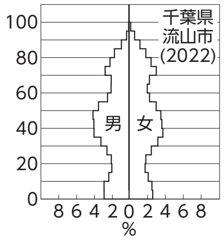
→**死亡率**が**出生率**を上回る〔　　　　　　〕の段階となる。



3 社会増加を反映する２つの人口ピラミッド

1. 星型

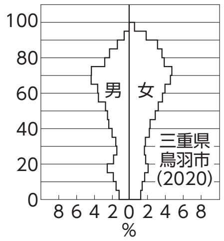
・〔　　　　　　〕に見られる，**若年層**の割合が高いピラミッド。都心部での仕事を求める若年層が，都市郊外に流入するケースが典型的である。



2. ひょうたん型

・若年層が流出する**地方**に見られるピラミッド。

・特に〔　　　　〕化の進行する地域では，若年層の減少が著しく，高齢者の割合が極めて高い形となる。



まとめ　つぼ型。出生率が極めて低く，死亡率が出生率を上回る「人口減少」の段階。若年層の割合が高い星型，若年層の割合が低く，老年人口の割合が高いひょうたん型。

第 11 講　PART 2　確認問題

1　人口転換の流れとして正しいものはどれか。

①　多産多死→多産少死→少産少死
②　多産多死→少産少死→多産少死
③　多産少死→多産多死→少産少死
④　多産少死→少産少死→多産多死

2　発展途上国の人口について述べた以下の文のうち，**正しくないもの**はどれか。

①　医療の発達が後れている国では，依然として死亡率が高い。
②　発展途上国で死亡率が下がる要因の一つは，衛生環境の改善である。
③　多産少死の人口動態を示す国では，人口爆発が見られる。
④　現在，発展途上国では相対的に若年層が少ない国が増えている。

3　レソトなど，現代でも特に開発の後れた発展途上国の人口動態として正しいものはどれか。

①　少産少死　　②　少産多死
③　多産少死　　④　多産多死

4　死亡率が出生率を上回り，人口減少が始まっている国はどこか。

①　アメリカ合衆国　　②　オーストラリア
③　日本　　④　フランス

5 生産年齢人口は何歳以上何歳以下の人口のことをいうか。

① 15 歳以上 60 歳以下　② 15 歳以上 64 歳以下
③ 20 歳以上 60 歳以下　④ 20 歳以上 64 歳以下

6 多産多死の状態を表す人口ピラミッドはどれか。

① つぼ型　② 釣鐘型
③ ピラミッド型　④ 富士山型

7 多くの先進国の状態を表す人口ピラミッドはどれか。

① つぼ型　② 釣鐘型
③ ピラミッド型　④ 富士山型

8 大都市圏などで見られる，若年層の割合が高い人口ピラミッドの型はどれか。

① つぼ型　② 釣鐘型
③ ひょうたん型　④ 星型

第 11 講　PART 2　確認問題 解答

1 解答：①　時代変化や経済発展に伴い，人口動態は**多産多死→多産少死→少産少死**と変化する。

2 解答：④　発展途上国では，人口増加率が高く，相対的に**若年層が多い**国がほとんどである。

3 解答：④　特に開発の後れた発展途上国では，**多産多死**の状態となる。これらの国では出生率・死亡率がともに高い。

4 解答：③　**日本**では少子高齢化が進行し，**人口減少**が始まっている。

5 解答：②　**生産年齢人口**は，**15 歳以上 64 歳以下**の人口をいう。年少人口は 14 歳以下，老年人口は 65 歳以上を指す。

6 解答：④　**多産多死**の状態を表す人口ピラミッドは，年少人口が多く裾野が広い**富士山型**である。

7 解答：②　多くの先進国の状態を表す人口ピラミッドは，全世代人口のつり合いが取れる**釣鐘型**である。釣鐘型が進むとつぼ型になる。

8 解答：④　大都市圏などで見られる，若年層の割合が高い人口ピラミッドは，**星型**である。